



行窓会隆
佐伯城小寺集員會
長編委刷印(有)岡沢印刷

時の流れとともに懐かしいふるさとの風景も様変わりしていきます。あなたはどの時代を過ごしましたか？



馬場の松

なぜ今これを思い出したのか。
今年の始め、私たち第三十一回生の還暦祝いを兼ねた同窓会が開かれました。静岡市で家庭を築き三十数年、お正月の帰省は無理だったのですが、ここにきて人と切りついた感もあり、帰省と出席が叶いました。かつての少年少女たちではあります。しかし、これまでの自分たちの人生が叶いました。この時には、例のあのウイルスは、まだ「中国・武漢の謎の新型肺炎」だつたため、普通に帰省ラッシュもあり初詣の人混みもあつたのです。遠方からの帰省どころか、外出・外食、人の集まりがあるといわれれるねずみの歳生ましには、それから幾月も経たないようになります。昔から危機察知能力がある私たちには、それがひっくり返ってしまつたのは、それから数ヶ月後でした。これからは、「ふが悪い」と思いましたが、「ふが悪い」ことになりました。

明治生まれの祖父母は、人の運やタイミングの良し悪しを「ふがいい」と言いました。大分の方言だとばかり思っていましたが、調べると九州のあちこち、山口県辺りでも遣われているようです。

「ふ」とは「賦」もとのを与える授かるという意味を持つ字でもあり、運や好機は天から与えられるところからきているようです。

馬場の松

寺田 育美 (旧姓高橋)
31回生

一昨年の春に、同窓会から保護者の皆さまにアンケートをとらせて頂きました。

その中で、同窓会にして貰いたいことのトップに、校内のトイレの改善があり、調査したり話し合つてきました。学校内のトイレは大分県の設備なので、同窓会では活動できないことだつたのですが、今春になり、県全体の事業でトイレの洋式化をするようになつたと校長先生から同窓会理事会に報告があり、改めてお話を聞きに行きました。

(十一月二十日)
「今年度、二二校を洋式化でき
るようになり予算も付きました。



実際の工事は来年度になるかも
しれません。さらに、体育館の大規模改修に伴う外のトイレの
洋式化の検討も進んでいます。
この嬉しいニュースに、生徒さんや、
心配している保護者の皆さんのが
年々願いが叶う日も近いと確信し
ました。



体育館横のトイレ

実現します！ 洋式トイレへ

真帆片帆



教頭 勇一
船津

「地域と共に全力で」

月の明るさと水面を跳ねるキ
ビナゴの美しさ・・・。暖か
い人柄と飾らない気質、自然
いっぱいの猪串は、生物教師
としての原体験となつていま
す。また、佐伯鶴岡高校で知
り合つた地元の友人や同僚、
教え子たちは、自分の宝であ
り、何人かは佐伯鶴城高校の
保護者でもあります。

佐伯鶴城高校の教頭として、
日々地元佐伯の雄として百十
年の歴史と伝統を感じずには
いられません。しかし、更な
い百年を見据え、ドラステイ
ックに変革を求める事は、
のも事実です。

四月に着任した船津です。
佐伯の地は私にとって「第2
のふるさと」です。以前、佐
伯鶴岡（現佐伯豊南）高校に
7年間勤務し、小学校は南海
部郡の猪串小学校入学で、2
年生まで猪串浦に住んでいま
した。当時、同級生は7人で、
そのうち男子は二人だけで、
いつも一緒にサッカーボール
を蹴つて遊んでいたのを覚え
ています。

「地元から愛され、佐伯の
猪串での生活は、良い思い
出しがありません。学校前の
海での水泳教室や夜に父と小
さな伝馬船でイカ釣りに行き、

和4年度からの新学習指導要
領が目前で、先生方には新た
な学び方を創造する日々が続
きます。

リーダーとして活躍できる人
づくりを中心に据え、地域の
皆さんと共に全力でがんば
つて行きたいと思つています。

クリスマスコンサート

12月17日、恒例のクリスマスコンサートが中庭で行われました。

同窓会から、野々下涼美副会長の挨拶に続いて、可愛らしいパッケージのクッキーが配されました。

寒さの中でしたが、生徒が見守る中の演奏は迫力満点。

同窓会からのプレゼントにも2階3階、屋上からも拍手がありました。



同窓会役員の皆さん

「まっすぐな声」が世界報道写真コンテストで大賞に

千葉康由氏（高42回生）

オランダの世界報道写真財団が、報道写真の世界的コンテスト「世界報道写真コンテスト」2020年を発表しました。大賞には、 AFP通信の千葉康由さんが撮影した「Straight Voice（まっすぐな声）」が選ばれました。

コンテストは、主に前年に撮影された報道写真を世界中から募るコンテストです。世界中の報道カメラマン4,282人が参加し、7万3996点の写真が集まつたそうです。審査員により、8つの部門での受賞作品と、全部門を通じて1点の大賞が選出されます。

“Straight Voice（まっすぐな声）”と題された千葉さんの作品は、独裁政権が退陣に追い込まれた後のスーダンの首都 ハルツームで催された文民統制を求める対話集会で、デモ参加者の携帯電話のライトに照らされ、抗議の詩を読む若い人達の姿を写した一枚です。軍により、電力やインターネットが遮断される中、集まつた人々が携帯電話を駆使する様子は、現在のアフリカの発展を表しているようです。

受賞した千葉さんは1971年生まれ。鶴城高校を卒業、武蔵野美術大学映像学科を卒業後、朝日新聞社、フリーランスを経て現在は AFP通信社ナイロビ支局にてチーフフォトグラファーを務めています。日本人の大賞受賞は1979年以来となり、4人目の快挙です。

写真是ここで見られます。

世界報道写真展 公式ホームページ
<https://www.asahi.com/event/wpph/>

「世界報道写真展」は、1955年にオランダのアムステルダムで「世界報道写真財団」が発足し、翌年から始まったドキュメンタリー/報道写真の展覧会。毎年その年の1月~2月にかけて、主に前年に撮影された写真を対象にした“世界報道写真コンテスト”が開かれ、十数人からなる国際審査員団によって選ばれた入賞作品が同写真展の作品として、世界中約120会場で展示される。

コロナ禍の中で本校生徒はどう過ごしていたのでしょうか？

高文連科学専門部

第61回科学研究発表大会

日時 11月8日（日）
場所 別府大学

化学部門 優秀賞
研究テーマ「市販されている次亜塩素酸水の正体を探る」
生徒 2年 中市虎信 川野凱脩
1年 鍵野誠太

【研究要旨】

新型コロナウイルスの感染拡大で学校が休校になった。休校が明けると、毎朝次亜塩素酸水での消毒から学校生活がスタートするようになつた。一般的に

消毒には次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウム水があると言わ
れている。よって塩素が抜けやすいと予想されるので、本校で使用してい
る市販の次亜塩素酸水を加熱して残留塩素を測定した。予想に

反して、加熱しても塩素が抜けにくいという結果が出た。調べてみると、次亜塩素酸水は低濃度の塩化ナトリウムから作る

場合（A液）と希塩酸から作る場合（B液）の2種類があつたので、これらを電解装置で自作して加熱により残留塩素を調べた。A液の方が加熱しても残留塩素が多かつた。この次に、2種類の次亜塩素酸水を日向・暗

室中・冷蔵庫中で放置すると、日向の場合が最も塩素が抜けやすいという結果を得た。このことから、次亜塩素酸水の保存には遮光する必要があること、さらには太陽光のもとでは7日位で塩素がなくなることがわかった。

今後は、次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウム水の違いを研究する予定である。

化学部門の最優秀賞は上野丘高校の研究で最優秀賞と本校の優秀賞が九州大会の出場権が得られます。今年度はコロナのため、長崎で行われる予定であった九州大会は発表ではなく、論文の出品のみとなりました。

コロナ禍の中、生徒達は。。。。

詩趣豊かなる

表紙のさいき城山桜木ホールの開館にともない佐伯文化会館がなくなります。どれだけの同窓生や生徒が足を運んだことでしょうか。様々な思い出と共に新しいホールで一一〇周年を迎えます。

令和2年8月8日

第70回大分県高等学校音楽コンクール ピアノ部門で3年生 森本さくらさんが金賞グランプリを獲得しました。

小学校1年からピアノを始め、平日は平均2~4時間、休日は6時間位の練習をこなしていました。練習するときは自分の音をよく聞き、より良い表現ができるようにと心がけているそうです。現在は別府市在住の先生に師事し、将来は演奏活動を行ったり、ピアノの指導もして行きたいとのことでした。

- *第70回大分県高等学校音楽コンクール
ピアノ部門 金賞グランプリ
- *第16回中津An die Musikピアノコンクール
高校生コース 第2位
- *第47回大分県音楽コンクールピアノ部門
高等学校の部 第2位



大手前地区全景 昭和40年（1965年）頃



取り壊される佐伯文化会館



大手前にあった旧佐伯市役所 昭和34年（1959年）



この神武神話を描いた縦帳は。。。

健児の前途

大 友 勝 彦 (高24回生)

オートモズフィッシュアンドファーム



4年前に定年退職、再就職の話もあったりいろいろと迷いはしたけれど結局地元佐伯に戻る決心をしました。戻るにあたりとりあえず実家の米づくりは継ぐことにしたけれど、ふとそれだけでいいのかとぼんやり考えていました。多忙な会社生活と海外での勤務から離れてふと40年間にどこにいたのか、どんなところで仕事をしてきたのかを世界地図にプロットしてみたらおよそ50か国、100都市の点が現れた。もちろん日本中でも様々なところに行ったり世界中でいろんな人と会い、共に働き、多くの部下を持ったし、それぞれの土地で美味しいものを食べ、時には血を吐くようなつらい思いをしながら仕事をしたなあと思うと感慨深く思えたし、まだこれからも何かやれるような気がした。

さて、実家に帰りこれから何をして行つたらいいのか、もちろん何もせず気楽に生きることも出来るとも思ったけれど、少しだけ自分の経験したことを活かして、ちょっとだけ地元に貢献できればと思い起業をした。

事業の内容は今までとは全く違うフィールドで、もちろん全くの素人の世界、だけどどんな環境でも生業の基

本は同じでどこをどうやって探しひも解いていくかは考えればおのずと道は開けてくる。

佐伯の食材を全国のレストランに納入するというのは
そうたやすいことではないし、もともとビジネスとして
旨味のある仕事ではない。だからこそ自分が経験し、学
んだノウハウを活かし次の世代に引き継ぐことで地元へ
の貢献もできる。どんな市場をターゲットにしてどうや
って攻めて実利に結び付けるか、市場にあった商材を開
発することも必要だし、人脈作りや販路開拓、なにもかも
が一から。朝早くから市場に通い漁協や仲買人に仲間
として受け入れてもらうまで3年かかったし、食材を知
るためにまずA to Z全てを理解し自分で目を養うことが
重要。だからジビエビジネスは銃も罠も免許を取り捕
獲から解体、肉の見極めまでをやる。地元にとっても新
しいマーケットとしてイタリアンやフレンチなどの市場
を開拓して行こうと思う。起業からまる3年、ようやく
事業としては軌道に乗り始めたところ。

次は安定した利益を上げ、税金という形で地元に貢献すると共に若い世代に事業を移管していく。

鮮魚、水産加工品の開発製造、契約農家さんのヨーロッパ野菜、ジビエと事業内容は多岐にわたるが著名なシェフやレストランとの関係もでき販路も確保出来た。



同窓会費はいつでも受け付けています。

同窓会費はこちらまで

年会費 3,000円

1

【加入者名】 佐伯鶴城同窓会

【口座記号番号】01740-6-47995

【住 所】〒876-0848 佐伯市城下東町7-1

ただし、終身会費として、下記のような納め方もあります。

終身公書

現在70歳から79歳の方は、20,000円

現在80歳以上の方は、 10,000円

会費は母校のために使わせていただいております。

- 大学訪問交通費支援 ○「鶴城未来塾」(同志生を講師にした講演会)の支援 ○リーダー育成奨学金 ○部活動の補助
○休日自主学習を指導する教職員に日当支援 ○予備校活用援助(特別講師の招聘、教師の研修・生徒派遣)等 ○会報の発行・送付

長年の夢であったトイレ洋式化に目処がついた。

文科省によると公立の小中学校のトイレ洋式化率は57%、高校はそれを大幅に下回ると言う。小学校では年々洋式化が進んでいるものの、避難所や洋式化の進んでいない施設で使えないところがあるので和式も残して欲しいという声もあるのだとか。

現在の高校生のほとんどの家庭が産まれた時から洋式だろう。最近では洋式トイレもたくさん機能が備え付けられるようになつた。フルオートにしている家庭も増えてきている。

知人がフルオート機能のトイレにしたので使い心地はどうかと聞いてみた。意外にも「フルオート」の機能は使つていないのだと言う。手を使わずに蓋が開閉できたり、勝手に洗浄してくれるのが便利だと思っていたが、それに慣れてしまうと外出先で流すのを忘れるのだそうだ。習慣とは怖いものだ。家族に指摘され気づいたのだそうだが、これ以上の惨事を起こさないためにもその機能をオフにしたと言ふ。世の中の全てが同じように変化していくのには時間がかかると言うことだ。

今年はコロナ禍で自粛生活の続く年末年始になりそうだ。トイレ掃除を念入りにして新年を迎えると思う。